



第111期
中間報告書

2010年4月1日から
2010年9月30日まで

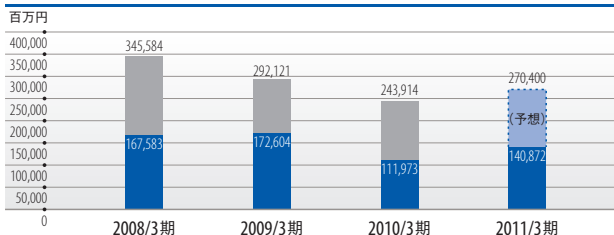
NGK **NTK** 日本特殊陶業株式会社
スパークプラグ ニューセラミック

証券コード 5334

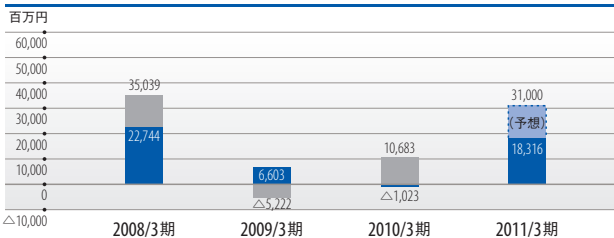
決算ハイライト

● 売上高

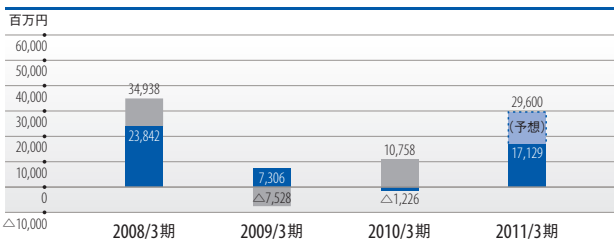
■ 中間 ■ 通期



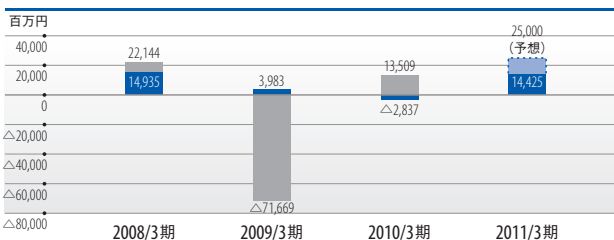
● 営業利益



● 経常利益

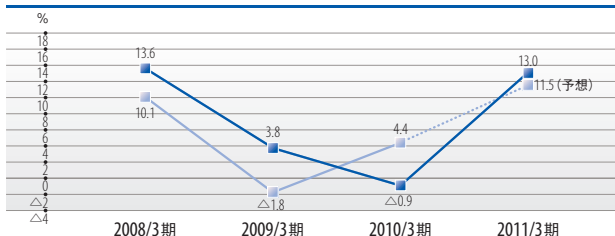


● 中間 (当期) 純利益

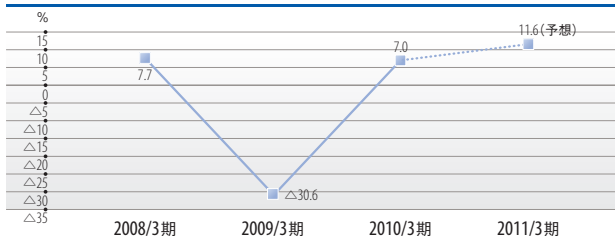


● 売上高営業利益率

■ 中間 ■ 通期



● ROE (自己資本利益率)



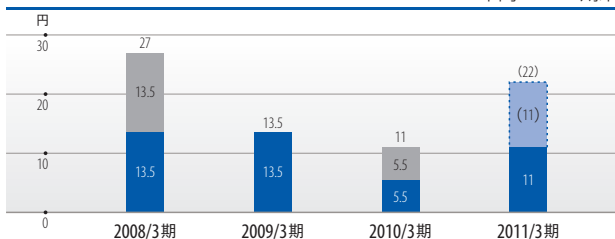
● 配当金の推移

(1株当たり)

	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期
中間	13円50銭	13円50銭	5円50銭	11円
期末	13円50銭	—	5円50銭	(11円)
年間	27円	13円50銭	11円	(22円)

()は予定

■ 中間 ■ 期末



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第111期上半期（2010年4月1日から2010年9月30日まで）の連結業績を取りまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。



取締役社長

加藤倫朗

■当上半期の連結業績

当上半期における世界経済は、アジア新興国における景気拡大が下支えし、世界同時不況の最悪期から緩やかな回復基調を続けてきましたが、欧米経済の回復力は乏しく、欧州では金融不安が深刻化、米国では夏以降、景気減速懸念が強まり、為替相場において急速に円高が進行しました。わが国経済におきましても、海外需要の鈍化や急激な円高進行により自動車や電気機械などの輸出関連企業において業績悪化や競争力低下の懸念が強まり、輸出関連の株安が加速しました。また依然として雇用情勢は厳しく、個人消費は猛暑の影響や政府の販売奨励策で一時的に伸びましたが、デフレが長期化する中、持続的な回復には至っていない状況です。

当社グループが主要な事業基盤とする分野においては、自動車業界では新興国市場を中心に堅調に需要が伸び、またわが国では政府の販売支援策「エコカー補助金」終了前の駆け込み需要が急増しましたが、9月で打ち切りとなり、今後は、制度終了による反動減や円高進行による輸出の落ち込みが懸念され、自動車メーカー各社は生産調整を迫られている状況です。

情報通信・セラミック関連事業の主要市場である半導体関連業界では、世界的にパソコン需要が回復、またスマートフォン（多機能型携帯電話）市場が拡大し、デジタル民生機器、車載デバイス、環境関連ではLED照明などの各製品販売が堅調に推移している状況です。

このような状況のもと、当社グループの当上半期の連結売上高は1,408億72百万円（前年同期比25.8%増）、営業利益183億16

百万円（前年同期は10億23百万円の営業損失）、経常利益171億29百万円（前年同期は12億26百万円の経常損失）となり、中間純利益は144億25百万円（前年同期は28億37百万円の中間純損失）となりました。

〈自動車関連事業〉

自動車関連事業につきましては、円高影響で売上高の伸びが鈍化していますが、中国、北米、欧州を中心にスパークプラグおよび自動車用各種センサーの出荷は堅調に推移しています。一方、生産面においてはそれら製品の急激な需要増に対して増産対応を行っていますが、生産が追いつかず逼迫した状況が続いています。この結果、当上半期の連結売上高は1,012億90百万円（前年同期比34.8%増）、営業利益は191億57百万円（前年同期比394.0%増）となりました。

〈情報通信・セラミック関連事業〉

情報通信・セラミック関連事業につきましては、パソコンや携帯電話、民生機器用途の製品出荷が堅調に推移しています。一方、業績面においては、円高影響で圧迫されているものの、生産体制の見直し・合理化活動などの抜本的な構造改革に努めた結果、業績回復に向かっています。この結果、当上半期の連結売上高は375億71百万円（前年同期比7.4%増）、営業損失は8億86百万円（前年同期は49億93百万円の営業損失）となりました。

■配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における最重要政策の一つと認識し、安定的な配当の継続を基本としており、中間配当金といたしましては1株当たり11円とさせていただきます。

期末配当につきましても前回予想から2円増配し、普通配当金として1株当たり11円を予定しております。

■今期の見通し

今期後半につきましては、欧州における金融不安や米国における景気減速より為替相場において円の独歩高が進んでいること、またわが国においてはエコカー補助金打ち切りによる自動車需要の落ち込み懸念があることなど先行き不透明な状況にあります。

このように見通しが立て難い状況ではありますが、今期の業績見通しを、為替レート1ドル=80円、1ユーロ=110円を前提に、売上高2,704億円（前期比10.9%増）、営業利益は310億円（前期比190.2%増）、経常利益は296億円（前期比175.1%増）、当期純利益は250億円（前期比85.1%増）を予想いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

中間連結貸借対照表

(2010年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	177,343	流動負債	48,551
現金及び預金	26,016	買掛金	24,866
受取手形及び売掛金	48,886	短期借入金	811
有価証券	34,319	1年内償還予定の社債	2,666
たな卸資産	52,072	リース債務	190
繰延税金資産	7,046	未払法人税等	1,719
その他	9,180	繰延税金負債	96
貸倒引当金	△178	その他	18,200
固定資産	147,571	固定負債	64,784
有形固定資産	89,725	社債	35,000
建物及び構築物(純額)	46,472	リース債務	753
機械装置及び運搬具(純額)	24,711	退職給付引当金	17,229
土地	15,200	負ののれん	57
建設仮勘定	1,455	繰延税金負債	10,297
その他(純額)	1,885	その他	1,446
無形固定資産	6,100	負債合計	113,336
のれん	54		
ソフトウェア	5,993	純資産の部	
その他	52	株主資本	219,223
投資その他の資産	51,745	資本金	47,869
投資有価証券	47,663	資本剰余金	55,162
繰延税金資産	2,682	利益剰余金	131,212
その他	1,501	自己株式	△15,021
貸倒引当金	△101	評価・換算差額等	△9,215
資産合計	324,915	その他有価証券評価差額金	9,185
		為替換算調整勘定	△18,400
		少数株主持分	1,571
		純資産合計	211,579
		負債純資産合計	324,915

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

売上高	140,872
売上原価	100,625
売上総利益	40,247
販売費及び一般管理費	21,930
営業利益	18,316
営業外収益	1,683
受取利息及び配当金	865
その他	818
営業外費用	2,870
支払利息	294
為替差損	1,679
休止固定資産減価償却費	544
その他	351
経常利益	17,129
特別利益	35
固定資産売却益	35
特別損失	382
固定資産処分損	80
投資有価証券評価損	165
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	136
税金等調整前中間純利益	16,783
法人税、住民税及び事業税	2,509
法人税等調整額	△298
少数株主利益	145
中間純利益	14,425

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

税金等調整前中間純利益	16,783
減価償却費	8,086
売上債権の増加	△5,908
たな卸資産の減少	4,690
仕入債務の減少	△4,628
法人税等の支払額	△2,014
その他の	△447
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,561
定期預金の純増減額(△は増加)	1,347
有価証券の純増減額(△は増加)	△14,930
有形及び無形固定資産の取得	△3,226
その他の	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,863
配当金の支払額	△1,195
その他の	△540
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,736
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,882
現金及び現金同等物の減少額	△3,920
現金及び現金同等物の期首残高	46,364
現金及び現金同等物の中間期末残高	42,443

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■環境社会報告書2010の発行

企業理念の実現を目指す私たちの考えや取り組みを広く知っていただくため、9月10日、2009年度の当社グループの環境活動および社会活動をまとめた「日本特殊陶業グループ 環境社会報告書2010」を発行しました。

本報告書では、初の試みとして2つの特集を設け、「技術力」と「グローバル展開」について表現しました。

◇技術力：固体酸化物形燃料電池 (SOFC) の開発

低炭素社会に向けて期待されるSOFCの開発に取り組んでいます。当社のSOFCの特長を紹介するとともに、SOFCの開発の基礎となった当社の技術などを紹介しています。

◇グローバル展開：ブラジル特殊陶業 (有) の50周年

ブラジル特殊陶業有限会社は、2009年8月に創立50周年を迎えました。同社は当社初の海外製造拠点であり、当社のグローバル展開を象徴する子会社です。ブラジルの地域社会とともに歩んだ50年の歴史を紹介しています。



【環境社会報告書2010】



国内の工場・子会社は、それぞれサイトレポートを発行し、環境活動、環境情報をお知らせしています。



【サイトレポート】

「環境社会報告書2010」とその詳細情報、サイトレポートは、ホームページよりダウンロードしていただけます。

<http://www.ngkntk.co.jp/environment/>

情報開示の一つとして今後も内容の充実を図ってまいりますので、ぜひ株主の皆様にもご高覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

■ 商 号	日本特殊陶業株式会社																																																						
■ 英 文 社 名	NGK SPARK PLUG CO., LTD.																																																						
■ 本 社 所 在 地	〒467-8525 愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号																																																						
■ 設 立 年 月 日	1936年（昭和11年）10月26日																																																						
■ 資 本 金	478億69百万円																																																						
■ 発行可能株式総数	3億9,000万株																																																						
■ 発行済株式の総数	2億2,954万株																																																						
■ 従 業 員 数	5,706名（就業人員）																																																						
■ 役 員	<table> <tr> <td>代表取締役</td> <td>加 藤 倫 朗</td> </tr> <tr> <td>取締役社長</td> <td>加 藤 倫 朗</td> </tr> <tr> <td>代表取締役</td> <td>川 原 一 雄</td> </tr> <tr> <td>取締役副社長</td> <td>川 原 一 雄</td> </tr> <tr> <td>代表取締役</td> <td>川 下 政 美</td> </tr> <tr> <td>取締役副社長</td> <td>川 下 政 美</td> </tr> <tr> <td>専務取締役</td> <td>加 川 純 一 彦</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>住 田 克 彦</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>二 村 精 二</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>大 島 崇 文</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>多 島 容 二</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>柴 垣 信 二</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>尾 堂 真 一</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>山 田 正 彦</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>寺 西 範 男</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>河 尻 章 吾</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>鈴 木 淳 一 郎</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>中 川 武 司</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>松 成 慶 一</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>飯 見 均 之</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>小 磯 英 隆</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>濱 田 隆 男</td> </tr> <tr> <td>取 締 役</td> <td>河 合 忠 男</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>川 満 男 務</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>浅 井 正 美</td> </tr> <tr> <td>監 査 役</td> <td>井 上 邦 洋</td> </tr> <tr> <td>監 査 役</td> <td>佐 尾 重 久</td> </tr> </table>	代表取締役	加 藤 倫 朗	取締役社長	加 藤 倫 朗	代表取締役	川 原 一 雄	取締役副社長	川 原 一 雄	代表取締役	川 下 政 美	取締役副社長	川 下 政 美	専務取締役	加 川 純 一 彦	常務取締役	住 田 克 彦	常務取締役	二 村 精 二	常務取締役	大 島 崇 文	常務取締役	多 島 容 二	常務取締役	柴 垣 信 二	常務取締役	尾 堂 真 一	取 締 役	山 田 正 彦	取 締 役	寺 西 範 男	取 締 役	河 尻 章 吾	取 締 役	鈴 木 淳 一 郎	取 締 役	中 川 武 司	取 締 役	松 成 慶 一	取 締 役	飯 見 均 之	取 締 役	小 磯 英 隆	取 締 役	濱 田 隆 男	取 締 役	河 合 忠 男	常勤監査役	川 満 男 務	常勤監査役	浅 井 正 美	監 査 役	井 上 邦 洋	監 査 役	佐 尾 重 久
代表取締役	加 藤 倫 朗																																																						
取締役社長	加 藤 倫 朗																																																						
代表取締役	川 原 一 雄																																																						
取締役副社長	川 原 一 雄																																																						
代表取締役	川 下 政 美																																																						
取締役副社長	川 下 政 美																																																						
専務取締役	加 川 純 一 彦																																																						
常務取締役	住 田 克 彦																																																						
常務取締役	二 村 精 二																																																						
常務取締役	大 島 崇 文																																																						
常務取締役	多 島 容 二																																																						
常務取締役	柴 垣 信 二																																																						
常務取締役	尾 堂 真 一																																																						
取 締 役	山 田 正 彦																																																						
取 締 役	寺 西 範 男																																																						
取 締 役	河 尻 章 吾																																																						
取 締 役	鈴 木 淳 一 郎																																																						
取 締 役	中 川 武 司																																																						
取 締 役	松 成 慶 一																																																						
取 締 役	飯 見 均 之																																																						
取 締 役	小 磯 英 隆																																																						
取 締 役	濱 田 隆 男																																																						
取 締 役	河 合 忠 男																																																						
常勤監査役	川 満 男 務																																																						
常勤監査役	浅 井 正 美																																																						
監 査 役	井 上 邦 洋																																																						
監 査 役	佐 尾 重 久																																																						

単元未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式につきましては、市場で売買をすることができません。

当社の株式は1単元が1,000株となっており、999株以下の株式をお持ちの株主様は当社に対しまして、

- ① 買い取るよう、請求ができる
- ② 1単元（1,000株）となるように不足分の株式の売渡し請求ができる

の方法がございます。

例えば株主様が750株お持ちの場合

選択① お持ちの750株を当社に時価で売却いただく（買取請求）

② お持ちの750株に250株を買い増して、1,000株としていただく（買増請求）

買取請求・買増請求をご希望される株主様は、下記までお問い合わせください。単元未満株式をお持ちの口座によってご請求先が異なります。

特別口座でお持ちの場合	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
証券口座でお持ちの場合	口座を開設されている証券会社

※当社は、単元未満株式の買取請求・買増請求にかかる手数料を本年10月より無料としております。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京・名古屋 (第1部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店へお問い合わせください。

NGK | **NTK**
スパークプラグ | ニューセラミック

日本特殊陶業

<http://www.ngkntk.co.jp/>

